

〔 横浜市芸能センター 横浜にぎわい座 〕
平成26年度業務計画及び収支予算
〔公益財団法人横浜市芸術文化振興財団〕

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上13階建の地下2階から地上4階及び地上5階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4358.97㎡
開館日	平成14年4月13日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【指定管理期間中の使命】

「大衆芸能」は先人からの伝統を受け継ぎつつも、未来に向かい今もなお発展し続けている文化ジャンルです。また、その親しみ易さから老若男女を問わず、幅広い訴求力を持っています。

横浜にぎわい座は、様々な創意工夫により確立してきた独自の運営手法を「継承」しつつも、時代の変化やニーズを反映しながら更なる「発展」を目指します。

【業務取り組みの基本的な考え方】

大衆芸能の専門施設として質の高い鑑賞事業を提供することを中心に、大衆芸能作品の創造発信、若手実演家の育成、市民活動支援などに取り組むことにより、横浜市の文化政策、ならびに地域の活性化に寄与しつつ、大衆芸能の普及振興を推し進めます。

(2) 26年度の業務の方針及び達成目標

【事業について】

第二期指定管理期間の目標として取り組んできた、他施設や他組織と連携した企画やアウトリーチプログラムを安定的に実施します。大衆芸能界の潮流と「横浜にぎわい座らしさ」を両立させた事業を開催するとともに、webサイトやSNSでの発信なども活用しながらプロモーションをさらに強化し、顧客層の拡大に努めます。

【運営について】

大衆芸能専門施設として、また来たくなるような雰囲気演出と対外的なイメージアップを図り、引き続き利用者の利便と集客に結び付くような運営を行います。施設をご利用（公演・発表会・おさらい会等）いただく際は、利用者の立場にたった適切なアドバイスや主催者の集客につながる広報や販促に関する支援を行い、既存利用の底上げと新規利用層の拡大に努めます。

【管理について】

利用者へ安全・安心・快適な施設を提供できるような管理を行います。そのために、長中期的視点からの予防保全情報の把握と所管課への情報提供、必要優先度に応じた日常修繕の実施など、計画的で効果的な建物設備の維持管理を行います。防災計画についても、前年度経験をもとにより実際に応じた危機管理対応と体制の改善を図ります

【その他】

横浜市が取り組む東アジア文化都市に積極的に寄与します。

4 業務の取組と達成指標

(1) 事業について

ア 鑑賞機会提供の安定的開催と充実について（鑑賞機会提供事業）

[目指す成果]

- ・「にぎわい座ならではの」多彩な公演の経常的な開催により、多くの方が気軽に大衆芸能を楽しんでいただける場とします。
- ・入場料収入が事業経費を上回る、安定的で継続性の高い収支構造とします。

[取組内容]

横浜にぎわい座 経常事業

芸能ホール公演：原則として毎月1日～15日

小ホール公演：毎月月後半に2～3回程度

- 『横浜にぎわい座 有名会』（毎月7回開催）
落語と多彩な色物が順番に演じられることで、“寄席”の芸と雰囲気を初めての方でも気軽に楽しめる公演。

- 『にぎわい座 名作落語の夕べ』

(毎月1回開催)

4席の古典落語を、真打の落語家が1席ずつネタ出しで口演する、じっくりと落語の名作を楽しむ公演。

[達成指標]

- 年間 230 公演以上の主催公演
- 入場者月平均 3,500 名
有名会・名作 900 名＋企画公演 2,600 名
- 団体への販促
月平均 8 団体の誘致
提携団体の機関誌等への情報掲載：年 3 件

<p>●『横浜にぎわい座 企画公演 (演芸バラエティ)』 落語・漫才・コントから喜劇や軽演劇等まで、 幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を 日替わりで開催。</p>	
---	--

イ にぎわい座からの創造発信について（創造発信事業）

<p>[目指す成果] 大衆芸能の伝統を踏まえつつ、にぎわい座の独自性を加味した企画を実施することで、過去から未来へ続く大衆芸能の潮流の一端を担います。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●『桂歌丸 語り直して 三遊亭圓朝作怪談真景累ヶ淵』 (年1回開催) 三遊亭圓朝の古典落語の大作怪談に、桂歌丸が新たな息吹を吹き込み、現代の観客に向けて発信する公演。</p> <p>●「志の輔 no にぎわい」(年4回開催) 独特の世界観が魅力の立川志の輔が、新たな視点で解釈した古典落語や、映像等も活用した新作落語等を織り交ぜて演じる独演会シリーズ。</p> <p>●独演会シリーズ にぎわい座独自の視点と切り口で実力派落語家の魅力を発信する独演会シリーズ。現代の演芸界の潮流の一端を担います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□「桂歌丸 語り直して 三遊亭圓朝作怪談 真景累ヶ淵」入場者数：300名以上</p> <p>□「志の輔 no にぎわい」 入場者数：各回300名以上</p> <p>□「独演会」シリーズ（毎月1回以上開催）</p>

ウ にぎわい座を拠点とした若手実演家の育成について（育成事業）

<p>[目指す成果] 若手実演者に研鑽の場を提供し、大衆芸能の未来を担う「将来の名人」の誕生に寄与することで、大衆芸能界全体の発展に貢献します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●『登竜門シリーズ in のげシャール』 小ホールで開催する若手実演者による公演。</p> <p>●『企画公演(演芸バラエティ)』における小ホールでの若手育成公演出演者の登用。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『登竜門シリーズ in のげシャール』 年間15回以上の開催</p> <p>□『横浜にぎわい座 企画公演(演芸バラエティ)』 年5回以上の登用</p>

<p>○『坂あがりスカラシップ』 急な坂スタジオ・STスポット横浜とのネットワークにより、新進芸術家の活動を支援する事業。</p>	<p>上記公演の入場者数:各回 120 名以上 □『坂あがりスカラシップ』 支援対象者: 1 名</p>
---	--

エ 多様な世代に向けた教育普及型活動の拡充について（体験・学習事業）

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもを対象とした大衆芸能の教育・体験プログラムを通じて、創造力の育成に貢献します。また、大衆芸能の魅力に触れることで、それを身近なものと感じる層を拡大します。 外部の組織や施設等との連携した講座等の企画により、幅広い層に大衆芸能や寄席の魅力を普及します。 	
<p>[取組内容]</p> <p>○『横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム』</p> <p>○『寄席体験プログラム』 西区・中区の小学生を対象に、芸能ホールで【寄席文化】を体験してもらう公演。</p> <p>○『大衆芸能関連講座』 全年齢に向けて、経常企画と連動したレクチャー企画や体験講座を実施。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム』 コーディネート事業の実施(1校以上)</p> <p>□『寄席体験プログラム』 参加者: 1,500 名以上</p> <p>□『大衆芸能関連体験講座』 子どもや、みなとみらい地区の就業者など、幅広い層を対象とした講座の実施(年間3企画以上)</p>

オ 連携による大衆芸能振興の展開について（連携事業）

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元の団体等と協働することで、大衆芸能を通じた地域の賑わいづくりに貢献します。 財団が運営する施設間の連携による、ジャンルを超えたプロモーションや顧客開拓を通じて、芸術文化のすそ野の拡大に寄与します。また、連携により、多彩なアートを活用した横浜市の魅力の向上に貢献します。 	
<p>[取組内容]</p> <p>○『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』への参加（協力） 地域の団体・組織が開催する芸術文化を活用して、地域の活性化を図る企画。</p> <p>●財団が運営する施設間の連携によるプロモーション</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』 ・『野毛大道芸』への展示会場他の提供 (1回以上)</p> <p>・『野毛まちなかキャンパス』 講座開催(1回以上)、会場提供(2回以上)</p> <p>■ヨコハマ・アートナビの誌面や WEB、YAF チャンネルなどを活用し、財団による所管施設やジャンルを越えたプロモーションの一角を担います。</p>

カ 大衆芸能に関わる市民活動への支援について（市民協働による事業や運営の展開）

<p>[目指す成果]</p> <p>大衆芸能の魅力を多方面で活用し、地域の活動・イベントとの連携等、幅広く対応できる「コーディネート・相談」機能を稼働させ、市民の多様な活動をサポートします。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●『大衆芸能「コーディネート・相談」』機能にぎわい座が蓄積する大衆芸能の情報・ノウハウを、市民活動に幅広く活用してもらうため、情報発信・提供機能を強化します。</p> <p>○『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』（協力）</p> <p>●野毛地区街づくり会の中に設置された「にぎわい座利用促進委員会」と協働し、地域振興に取り組む市民活動を支援します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『大衆芸能「コーディネート・相談」機能』他の施設や組織へ情報やノウハウの提供、企画制作への協力(年間10件以上)</p> <p>■『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』事業の共同制作や広報協力、展示・レクチャー企画等への会場提供等により、地域市民との協働で地域の賑わいづくりに寄与します。</p> <p>□街づくり会利用枠での利用数(5公演以上)</p>

キ 大衆芸能情報センターとしての情報拠点化について

<p>[目指す成果]</p> <p>大衆芸能に関連する公演情報を継続的、多角的に収集・蓄積・発信することで、大衆芸能の魅力が幅広い層に伝わり、大衆芸能の普及・認知度を向上させます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●『情報コーナーでの大衆芸能情報の提供』</p> <p>●『電子大福帳の活用』主催公演の情報(公演日、演者、ネタ等)を「電子大福帳」へ入力・蓄積していきます。</p> <p>●『展示事業』2階情報コーナーでの大衆芸能資料を中心とした「常設展」「企画展」の開催。(一部協力)</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■『情報コーナーでの大衆芸能情報の提供』大衆芸能関連の配布物について、公演の開催地域や形態を問わず幅広く受け入れて配架します。</p> <p>□『電子大福帳の活用』全ての主催公演情報の入力(年間230件以上)</p> <p>□『展示事業』にぎわい座を素材とした作品を継続的に制作する画家・中島修の作品展の他、年間3回以上「企画展」を開催します。</p>

ク 地域活性化への貢献について

<p>[目指す成果]</p> <p>「野毛地区街づくり会」をはじめとする地域の各団体と協力・協働し、相互の広報協力・情報発信等を行うことで、街のにぎわい創出に貢献します。また、隣接する「みなとみらい地区」への情報発信や協力関係を構築することで、野毛方面への人の流れづくりに寄与します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>○『地域の飲食店等と連携したプロモーション活動』（協力）</p> <p>○『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』（協力）</p> <p>●『「みなとみらい地区」からの誘客活動』</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■『地域の飲食店等と連携したプロモーション活動』</p> <p>「野毛通手形 SeasonVI」への参加の他、地域の飲食店等と連携した集客・広報活動を実施します。</p> <p>□『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』『野毛大道芸』への展示会場他の提供（1回以上）</p> <p>『野毛まちなかキャンパス』</p> <p>講座開催（1回以上）、会場提供（2回以上）</p> <p>□『「みなとみらい地区」へのプロモーション活動』</p> <p>MM c c など、みなとみらい地区の企業や組織と連携した企画の実施（3回以上）</p>

ケ 市の文化政策との連携について

<p>[目指す成果]</p> <p>多様な施設を運営する財団の施設の1つとして、「横濱 J A Z Z プロムナード」や「フェスティバル事業」等への参加や、他の施設や組織との協働等で構築したネットワークを活用することで、横浜市の文化芸術・創造都市施策の実現に貢献します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>○『横濱ジャズプロムナード』</p> <p>○『TPAM(国際舞台芸術ミーティング)』</p> <p>横浜で開催される舞台芸術の国際的プラットフォームへの参加</p> <p>○『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『横濱ジャズプロムナード』</p> <p>のべ2日間参加(職員派遣)。横浜都心部の活性化や市民協働の推進に寄与します。</p> <p>■『TPAM(国際舞台芸術ミーティング)』</p> <p>国際的に注目される場で、にぎわい座の空間が新しく効果的な形で活用されることで、これまでとは異なる層への施設PRと利用拡大へ繋がります。</p> <p>□『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』『野毛大道芸写真展』への展示会場提供</p>

<p>○『横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム』</p> <p>○『フェスティバル事業』</p>	<p style="text-align: right;">(1回以上)</p> <p>『野毛まちなかキャンパス』 講座開催(1回以上)、会場提供(2回以上)</p> <p>□『横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム』 コーディネート事業の実施(1校以上)</p> <p>■『フェスティバル事業』 「東アジア文化都市」や「横浜トリエンナーレ」に積極的に寄与していきます。</p>
--	--

(2) 運営について

ア 大衆芸能専門館としての顧客満足度の高い運営の実現について

<p>[取組内容]</p> <p>●専門対応能力とアドバイスカの向上</p> <p>●大衆芸能独特の魅力あるホスピタリティ向上</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■公演当日だけでなく、主催者の企画段階での課題や広報や販促についても対応できるよう、きめ細かいアドバイスを行います。</p> <p>■演芸場らしい雰囲気を大切にしながら、来館者や出演者に笑顔で対応します。</p> <p>□季節に応じた館内装飾を実施します。(隔月以上)</p> <p>■インターンシップ(大学生)、体験学習(中学校生徒)を受入れます。</p> <p>□市民や学校などの団体向けに初心者向け講座またはバックステージツアー開催します。(共催を含み年2回)</p>
---	--

イ 施設の利用促進、利用開発による利用率向上について

<p>[取組内容]</p> <p>●開館について</p> <p>●利用率について</p> <p>●利用促進について</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ 開館予定日数・時間</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">開館日数</td> <td style="text-align: center;">341日 (月2回 施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">開館時間</td> <td style="text-align: center;">10時～22時</td> </tr> </table> <p>□ 目標利用率</p> <p style="margin-left: 20px;">芸能ホール：85% 小ホール：65% *利用可能日に対する稼働率</p> <p style="margin-left: 20px;">練習室：85% 制作室：55% *利用可能時間帯に対する稼働率</p> <p>□ にぎわい座 HP を活用したホールセールス</p>	開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)	開館時間	10時～22時
開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)				
開館時間	10時～22時				

	<p>年2回以上の一般見学会の実施などにより、平日夜間利用を促進します。また、利用希望の重なる土日祝日については、抽選後の空きや突然のキャンセル発生が生じた場合に、直接利用セールスを積極的に行って確実に有効な利用を図ります。</p>
--	--

ウ 利用ニーズに基づくサービスについて

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多角的ニーズの把握・分析 ●苦情処理への対応とその反映 ●新たなサービス開発・提供 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □来場者アンケートによりお客様の声を伺ったうえで、改善や対応が必要な内容については、年4回以上、回答を掲示します。 ■利用者の相談に幅広く対応し、チケット作成・委託販売、広報協力などきめ細かな公演サポートを行います。 ■来場者の立場に立ったオリジナルグッズの販売、わかり易い案内表示を行います。
--	---

エ 広報取組みについて

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新たな広報ツールやネットワークの活用（WEBサイトを活用したホールセール・公演情報発信） 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■抽選後、ニーズの高い大小ホール土日祝の空状況をHP告知し、利用希望者へ確実な提供ができるようにします。同時に貸館公演の誘致に繋がるよう毎月の情報更新を行います。 □公演情報発信 ツイッターにより公演情報・チケット情報等の速報性のある情報を積極的に発信していきます。（月45件） また、公演予告や制作風景等の映像素材や、公演の魅力や見どころを案内するトピックスや読み物などにより、定期的に見に来たくなるような、プロモーションに繋がるWEBサイトを展開していきます。（月平均Pv135,000）
---	---

オ 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●業務に応じた適切な人材配置のもと、施設の管理運営および事業展開が遂行できる勤務体制 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □人材の配置について <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">人数</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>管理運営チームリーダー</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>事業運営チームリーダー</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>係長級</td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1人	非常勤	副館長	1人	課長補佐級	管理運営チームリーダー	1人	係長級	事業運営チームリーダー	1人	係長級
項目	人数	備考														
館長	1人	非常勤														
副館長	1人	課長補佐級														
管理運営チームリーダー	1人	係長級														
事業運営チームリーダー	1人	係長級														

	担当リーダー	1人	管理運営系
	職員	5人	管理系2、事業系3
	企画コーディネーター	1人	業務委託（非常勤）
	アルバイトスタッフ	2人	予定
	にぎわいスタッフ	28人	総予定人数

勤務体制について
 基本：館長、企画コーディネーターを除くスタッフでのシフト制。
 シフト数は主催事業や貸館状況に応じて、配置人数は変動

- ・事務室
 - A 勤務（9:30～18:15） 最小2名
 - B 勤務（13:30～22:15） 最小2名
- ・受付窓口
 - A 勤務（9:45～13:55） 人数は状況対応
 - B 勤務（13:45～17:55） 人数は状況対応
 - C 勤務（17:45～22:00） 人数は状況対応
- ・舞台技術スタッフ（委託）：利用状況に応じた体制

(3) 管理について

ア 安全・安心・快適な施設野維持管理について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設・設備・備品の安全確保 ●高齢者や身体障害者に配慮した安心な施設 ●施設評価満足度の向上 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■年間を通じた管理者責任による人身事故ゼロを含む安全な状態での施設設備提供 ■所管課との施設設備保守管理状況の情報共有 <input type="checkbox"/> サービス介助士2級取得者が常勤スタッフ中1名以上在籍 ■来場者アンケートの実施による満足度把握および要望改善事項への対応
---	--

イ 施設予防保全への取組みについて

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●館内の日常設備点検実施と委託先との情報・課題共有 ●管理組合との調整・連携 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 建物総合管理業務委託先との定例業務報告会の実施、情報交換と確認（毎月1回） <input type="checkbox"/> ビル管理組合理事会への参加、情報共有（月1回）
---	--

ウ その他管理・保守点検に関する実施業務について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○建物総合管理業務 ○舞台機構・音響設備・舞台照明各保守点検業務 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■専門業者に委託し、関係法令ならびに管理業務基準に沿った管理・保守点検を実施
---	--

5 収支予算について

(1) 収支について

<p>[取組内容]</p> <p>●適正な収支管理と収入増</p>	<p>[達成指標]</p> <p>経費執行管理の徹底と収入増につながる方策を実施する中で、全体の収支バランスをとりながらサービスの質を維持しつつ、厳しい経済情勢に見合った健全で持続可能な経営を目指します。</p> <p>■事業収支</p> <p>これまで来場したことの無い顧客から、大衆芸能のコアなファン層まで、相手に訴求できるようプロモーションをWEBサイト中心に展開するとともに、団体・組織への販売促進を中心とした営業活動により、入場料収入増を図ります。</p> <p>■管理運営収支</p> <p>利用料金増収にむけて、既存利用者の底上げ（確実な再利用への誘導と利用回頻度増）、新規利用者層の拡大への取組み（一般むけ見学会の上下半期ごとの開催、近隣企業団体への利用促進活動など）を実施します。</p> <p>支出面については、引き続き業務量に応じた適正なにぎわいスタッフ数配置管理と光熱水費、消耗品費の削減を通して収支の健全化に取り組みます。</p>
-----------------------------------	--

26 年度収支予算書

(単位：円)

項目	予算額	備考
収 入		
指定管理料収入	196,885,000	
事業収入	143,370,000	(うち「東アジア文化都市」117万)
利用料金収入	20,500,000	
その他収入	10,668,400	企業協賛金/負担金収入/雑収入/補助金(「東アジア」1000万)
合計	371,423,400	

支 出		
人件費	92,570,000	職員/非常勤職員/臨時雇
管理費	118,439,000	修繕費/光熱水費/負担金(管理組合)/委託費
事業費	143,180,300	(うち「東アジア文化都市」1117万円)
事務費	17,234,100	
合計	371,423,400	

収支計	0	
-----	---	--